

教育課程におけるアクティブラーニング コンテンツの導入の効果と課題

小中高の教育現場で急速に導入が図られている能動型の学習スタイル「アクティブラーニング」。自分の授業で導入するには不安を抱えられる方も多くおられるのではないのでしょうか？今回は各教育課程でアクティブラーニングの授業やコンテンツの導入に携わられてきた3名の講師をお招きし、導入の効果と課題について事例をベースにご紹介いただきます。多くのご参加を心待ちにしております。

【日時】2024年8月6日(火)13:00～16:00

【会場】(対面)甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階

※会場は神戸のキャンパスではありませんのでご注意ください。

【受講料】無料

【開催方法】ハイブリッド型(対面もしくはオンライン)

※どちらかをお選びください。対面は定員40名。



会場アクセス

「これからの大学はどう変わらなくてはならないか ~実践から見えてきた課題~」
成城大学社会イノベーション学部 教授 青山 征彦 氏



1998年筑波大学大学院博士課程心理学研究科を単位取得退学。修士(心理学)。駿河台大学現代文化学部、同心理学部を経て、2016年から成城大学社会イノベーション学部教授。学部の専門科目でPBL型授業を担当。また、城南進学研究社とのPBL型のコラボ授業を2021年から担当しているほか、今年度、成城学園中学校高等学校で探究学習の導入プログラムを開発、実施している。

「小学生向けの能動的な学び ~ネット時代の学びのモチベーション設計~」
株式会社Mined CEO 前田 智大 氏



2020年MIT Media Lab, Media arts and Scienceを修了(修士・工学)。2020年に株式会社Minedを創業し、2021年から主に小学生を対象としたオンライン教育プラットフォーム「スコラボ」(<https://sukolabo.com/>)を運営している。スコラボを通じて多くの小学生に探究的な学びを提供している。

「初年次教育を見据えた探究学習への関わり ~受動教育現場へのALの導入の難しさ~」
甲南大学フロンティアサイエンス学部 教授 甲元 一也 氏



2000年九州大学大学院工学研究科を修了(博士(工学))。2004年から甲南大学先端生命工学研究所を経て、現在、同大学フロンティアサイエンス学部教授。新学部設置に伴って高大連携活動を始め、18年間にわたって中学生、高校生の指導、教育に携わってきた。最近では、多くの高校で探究学習の指導を生徒、教員対象に行っており、SSH等の学校運営指導委員も多く務めている。

【お申込み】<https://konan20240806.peatix.com/>

申込受付期間：2024年5月27日(月)～7月30日(火)

※申込の際にPeatixへの登録が必要となります。



お申込み

甲南大学 国際都市・神戸にあるミディアムサイズの総合大学

1919年に創立された甲南学園を母体とする甲南大学。学園創立者・平生夙三郎が掲げた教育理念「各人の天賦の特性を伸長させる人物教育率先」は今日まで脈々と引き継がれ、経済界をはじめ各界で活躍する卒業生を輩出してきました。人文・自然・社会科学の学問分野の広がり「ミディアムサイズの総合大学」の特長を生かした教育で、個性を尊重した人物教育を展開していきます。

お問い合わせ先：甲南大学ネットワークキャンパス東京事務所
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階
Email: nctokyo@adm.konan-u.ac.jp / TEL: 03-6266-9520

